

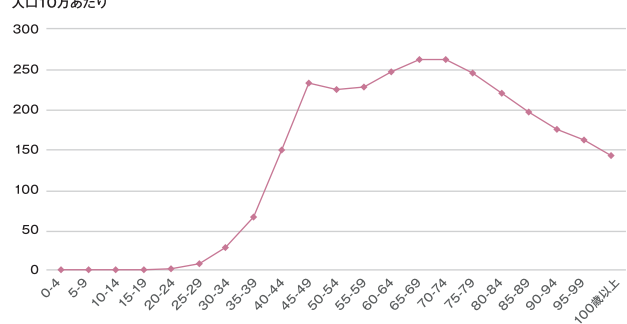


乳がん検診について

乳がんの特徴

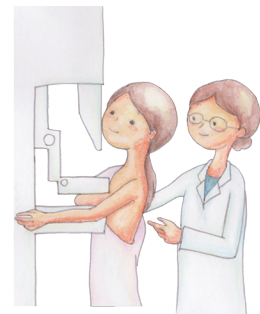
- ① 女性のがんの中で最も多く、年間9万人以上が乳がんと診断されています。**9人に1人が乳がんになります**。1年間に1万人以上が亡くなっており、35歳～64歳の女性では死亡原因の第1位となっております。
- ② 乳がんは、**40歳代から増加傾向**にあります。このため40歳以上の方は定期的にマンモグラフィ検診を受けることが大切です。
- ③ 乳がんは比較的**予後の良いがん**で、さらに検診で早期に発見すれば高い確率で完全に治すことができます。

年齢階級別の乳がん罹患率(2019年)



乳がん検診の方法

- ① マンモグラフィ検診は死亡率減少効果のある方法です。症状のない**40歳以上の女性に2年毎**に行われます。
- ② 乳房専用のレントゲン装置で、乳房をはさんで写真を撮ります。月経前をさけると痛みもほとんどありません。40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影です。
- ③ 検診で「要精密検査」の結果が送付されてきたら、検診精密検査実施医療機関を受診してください(実施医療機関は巻末参照)。



メッセージ

女性自身が乳房の状態に日頃から関心をもち、乳房を意識して生活することを

「**ブレスト・アウェアネス**」(乳房を意識する生活習慣)といいます。

これは乳がんの早期発見・診断・治療につながる、非常に重要な生活習慣です。

以下の4つのポイントを実践しましょう。

- ①**自分の乳房の状態を知る** ②**乳房の変化に気をつける**
- ③**変化に気づいたらすぐ医師に相談する** ④**40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける**

また、しこりや血性の乳頭分泌などの自覚症状がある場合は、放置せずに速やかに医療機関を受診することが重要です。

乳がんの治療は進歩しています。マンモグラフィ検診を受けましょう。